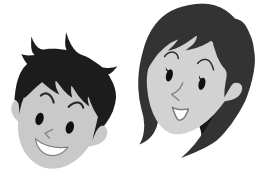
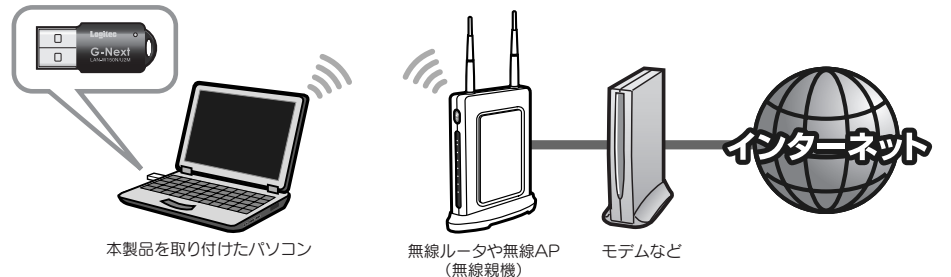
Logitec

LAN-W150N/U2M

A かんたんセットアップガイド

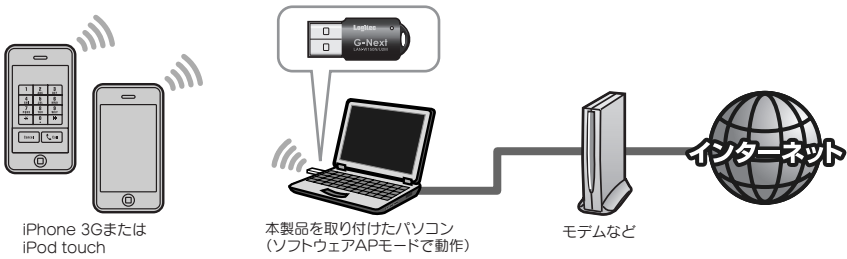
セットアップの手順は、こちらのマニュアルからお読みください

■本製品を使って、できること・・・

※このマニュアルでは「無線アクセスポイント」のことを「無線AP」と表記しています。

本製品は、WindowsマシンまたはMacに取り付けることで、無線ルータや無線APなどと無線LANで接続することができます（クライアントモード）。ロジテック独自の規格「G-Next」に対応し、11n(Draft2.0)準拠またはG-Next対応の無線ルータなどと組み合わせることで、高速なデータ通信が可能です。また、わずらわしい無線LAN設定をボタンひとつで済ませることができる「WPS機能」に対応しています。暗号化機能についても、WPA2-PSK、WPA-PSK、WEPなど幅広い方式に対応しています。このほかクライアントモード以外のモードを利用することでゲーム機などとの接続にも利用できます。

モードを変更することで、Wi-Fiゲーム機やiPhone 3G/iPod touchなどと組み合わせて利用できます！

◆DSやWiiのWi-Fi接続を利用して、世界中の人と対戦ゲームを楽しめます

◆iPhone 3G/やPod touchのWi-Fi接続を利用して、インターネット接続を楽しめます

◆XLink Kaiを使ってPSPからWi-Fi接続でゲームを楽しめます

これらのモードを利用するには・・・

各モードでの利用方法をわかりやすく説明したPDF版セットアップガイドを、本製品に付属のCD-ROMのセットアップメニューから閲覧・印刷することができます。専用マニュアルをお読みになることで、簡単にそれぞれのモードでのセットアップを実行できます。

※一度、他の機能で本製品をインストールした場合は、いったんドライバとソフトウェアをアンインストールしてから、再設定してください。

専用マニュアルを閲覧できます

■セットアップの流れ

セットアップを、はじめる前に

無線ルータや無線APなど、無線親機側の設定を、先に完了しておいてください。

STEP1 ソフトウェアをインストールしましょう

STEP2 本製品をパソコンに取り付けましょう

STEP3 無線LANで接続しましょう

Macでご使用の場合のセットアップ手順は、別紙「B かんたんセットアップガイド―Mac編―」をお読みください。

■本製品に付属のマニュアルについて

はじめにお読みください

セットアップを始める前に知っておいていただきたいことを説明しています。

A かんたんセットアップガイド

このマニュアルです。セットアップをはじめるときは、まず1ページをお読みになり、Windowsマシンの場合は2ページへ、Macの場合は別紙「B かんたんセットアップガイド－Mac編－」へ進みます。

B かんたんセットアップガイド ―Mac編―

Macの場合は、このページを読み終わったあと、この「B かんたんセットアップガイド―Mac編―」へ進みます。

本製品のいろいろな使用方法について

●本製品のオプション機能を使用する場合

本製品は、複数の無線LAN環境の設定を保存できる「プロファイル機能」などのオプション機能があります。オプション機能の使用方法については、付属のCD-ROM内に収録されたPDF版ユーザーズマニュアルをお読みください。※

●本製品をソフトウェアAPモードで使用する場合

本製品を無線AP（無線親機）として使用することもできます。設定の変更方法などについては、付属のCD-ROM内に収録されたPDF版ユーザーズマニュアルをお読みください。※

※出荷の時期により、ユーザーズマニュアルを弊社のホームページよりダウンロードしていただく場合があります。

ユーザーズマニュアルについて

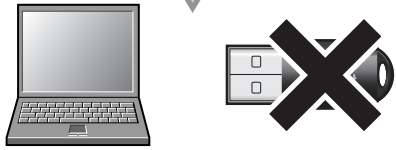
本製品は、さまざまな使い方があります。詳細な説明については、付属のCD-ROM内に収録されたPDF版ユーザーズマニュアルをお読みください。※

※最新のユーザーズマニュアルは、Logitecホームページよりダウンロードしてください。

LAN-W150N/U2M　かんたんセットアップガイド
2009年2月13日　第1版　ロジテック株式会社

STEP 1 ソフトウェアをインストールしましょう

本製品を取り付ける前に、ドライバとユーティリティをインストールします。
説明に従って進めるだけで、簡単にインストールできます。

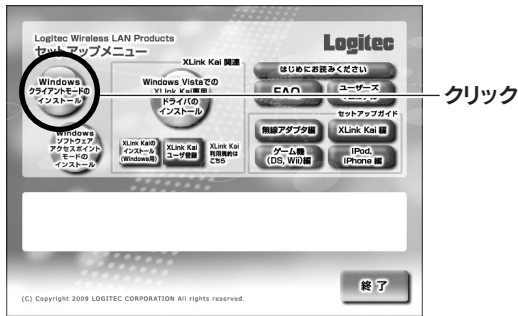
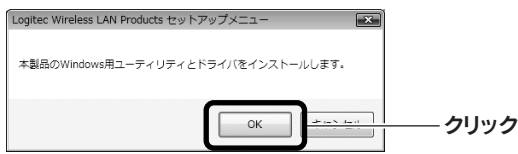
本製品をまだ取り付けないでください!

1 本製品を接続するパソコンを起動します。起動時はご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

■Windows Vistaの場合→
「管理者」権限を持つユーザーでログオン
■Windows XPの場合→
「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン
■Windows 2000の場合→
「Administrator」の権限をもつユーザーでログオン

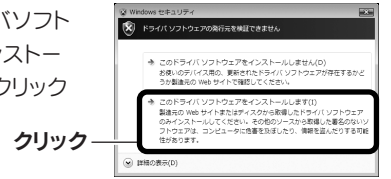
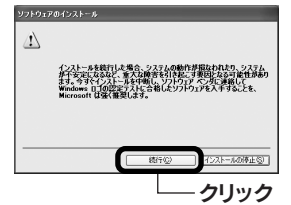
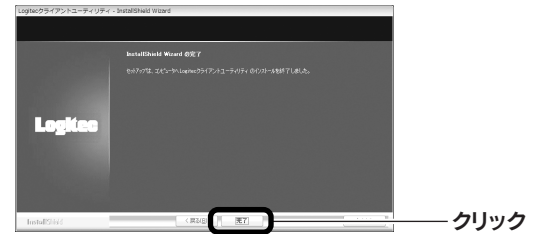
2 付属のCD-ROMをパソコンのドライブに入れます。

- 自動的に「セットアップメニュー」が表示されます。

「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「menu(.exe)」アイコンをダブルクリックします。Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合は、「menu.exeの実行」をクリックします。〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、[許可]をクリックします。

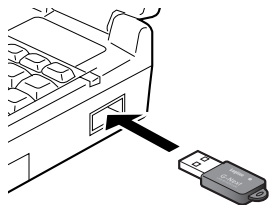
3 ユーティリティとドライバをインストールします。

4 インストールを確認するメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

5 [インストール]をクリックします。インストールが始まります。

6 以下の画面が表示された場合は、説明を読んでインストール作業を続けます。

■Windows Vistaの場合
- [このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

■Windows XP/2000の場合
- Windows XPの場合は、[続行]をクリックします。
- Windows 2000の場合は、「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されますので、[はい]をクリックします。

7 [完了]をクリックします。

8 これでソフトウェアのインストールは完了です。ドライブからCD-ROMを取り出し、「STEP2」へ進みます。

STEP 2 本製品をパソコンに取り付けましょう

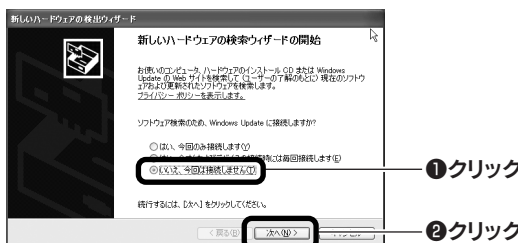
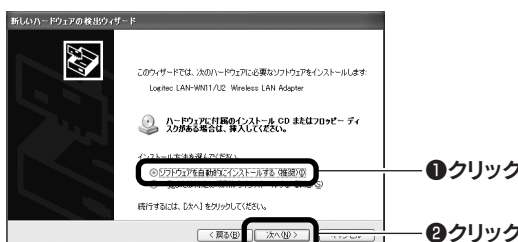
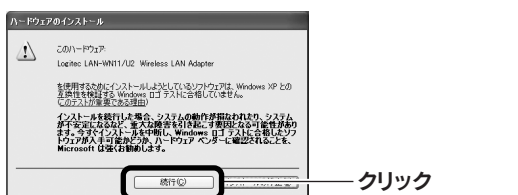
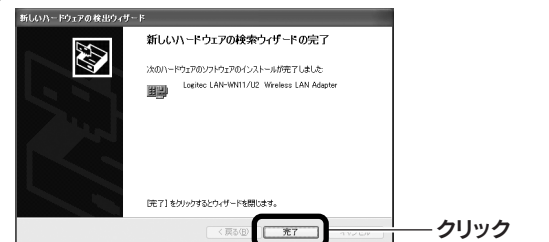
本製品はLAN-WN11/U2と共通ドライバになっています。
画面上では、本製品の名称が「LAN-WN11/U2」と表示されます。

1 パソコンのUSBポートに本製品を差し込みます。

2 ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。

■Windows Vistaの場合
しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 7 へ進みます。

■Windows 2000の場合
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、[はい]をクリックします。手順 7 へ進みます。

■Windows XPの場合
インストール画面が表示された場合は、手順 3 へ進みます。表示されなかった場合は、手順 7 へ進みます。

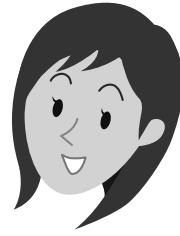
3 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ]をクリックします。

4 「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、[次へ]をクリックします。

5 以下の画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。

6 [完了]をクリックします。

7 正しくインストールされたことを確認します。

- デスクトップ画面右下のタスクトレイに「クライアントユーティリティ」のアイコンが表示されます。

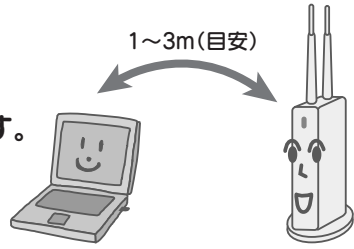
パソコンによっては再起動を促されますが、アイコンが表示されることを確認するまでは再起動しないでください。

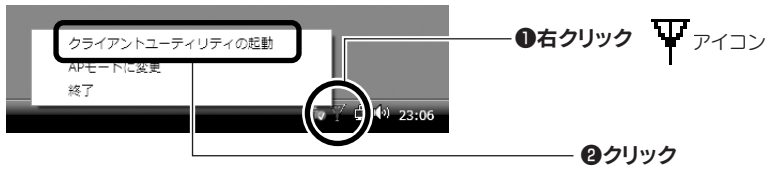
8 「STEP3」へ進みます。

STEP 3 無線LANで接続しましょう

WPS機能を使って無線ルータや無線AP(以降、無線親機と呼びます)と無線LANで接続します。

無線親機がWPSに対応していない場合
手動で無線LANへの接続設定をする必要があります。設定方法については、4ページ「**手動で無線LANに接続する場合**」をお読みください。

1 本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

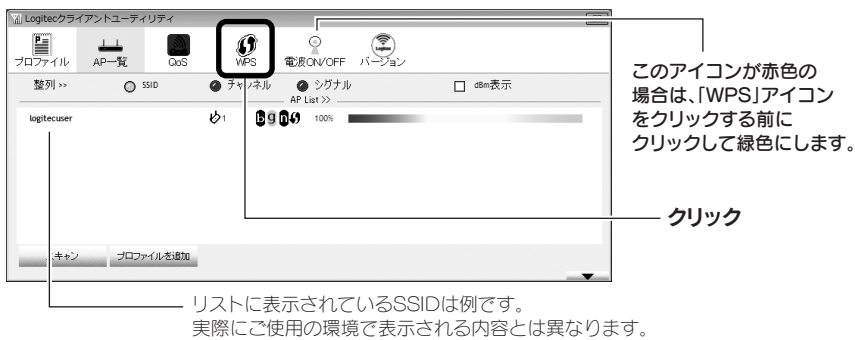
1〜3m(目安)

2 [クライアントユーティリティの起動]をクリックします。

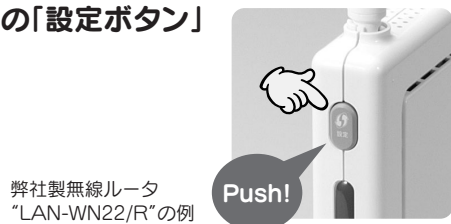
❶右クリック　アイコン
❷クリック

- デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックします。

3 アイコンが「電波ON」の状態になっていることを確認し、「WPS」アイコンをクリックします。

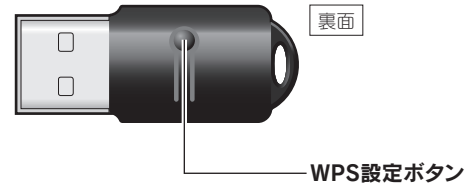
このアイコンが赤色の場合は、「WPS」アイコンをクリックする前にクリックして緑色にします。

クリック

リストに表示されているSSIDは例です。
実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

4 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を押します。

- 指定された時間だけ押します。

弊社製無線ルータ
"LAN-WN22/R"の例

5 本製品裏面にあるWPS設定ボタンを2秒以上しっかりと押します。

裏面
WPS設定ボタン

- クライアントユーティリティのWPS画面にある[WPS]ボタンをクリックする方法もあります。

6 正しく接続できると、ステータスに「Progress >> 100%」と表示されます。

※リストに表示されている情報は例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

- [X] をクリックしてクライアントユーティリティを閉じます。

接続がうまくいかないとき
- 100%にならない場合は、手順 4 〜 6 をくり返してください。
- 100%になっても無線通信できない場合、「WPSプロファイルリスト」にある接続先のSSID(弊社製無線ルータをご使用の場合は"logitecuser")を選択し、画面右側の [接続] をクリックしてください。

7 これで無線親機との接続作業は完了です。

インターネットに接続できる環境でご使用の場合
インターネットに接続できる環境の場合、Webブラウザからインターネットに接続することで、正しく設定できているかを確認することができます。

こんなときには ―― 困ったときにお読みください

Q1: WPSボタンを押しても無線ルータや無線APにつながらない。(無線ルータからIPアドレスが割り振られない)

A1: 次のようなことが考えられますので、確認してください。

①本製品(LAN-W150N/U2M)を取り付けたまま、パソコンを再起動してみてください。
②クライアントユーティリティの電波ON/OFFアイコンが赤色(電波OFF)になっていないか確認してください。赤色の場合はアイコンをクリックして緑色(電波ON)に変更してください。
②WPSページの、WPSプロファイルリストにあるSSIDを選択し、「接続」をクリックする。
③パソコンに内蔵されている無線LAN機能は、無効になるように設定してください。無線LAN機能を無効にする方法は、パソコンに付属の説明書をお読みください。内蔵無線LAN機能の状態を確認する方法は、PDF版ユーザーズマニュアルをお読みください。
また、本製品以外の外付け無線アダプタ(無線子機)を同時に使用しないでください。
④近くに電子レンジやコードレス電話、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を使用する機器があると、電波干渉が発生し、正常に接続できない場合があります。周囲にそのような機器があれば、使用を一時中止したり、電源を切ってください。

Q2: インターネットにつながらない。(IPアドレスは割り振られているが、つながらない)

A2: 次のようなことが考えられますので、確認してください。

①無線ルータの設定が正しくされているか確認してください。無線ルータに有線LANで接続したパソコンからインターネットに接続が可能かを確認してください。
②無線LANの暗号化設定が正しいか、もう一度確認してください。
③無線LANにつながる場合は、本製品に正しくIPアドレスが割り振られているか、もう一度確認してください。クライアントユーティリティの ▼ ボタンをクリックすると、本製品のIPアドレスが表示されます。「169.254.xxx.xxx」のようにIPアドレスが正しく割り振られていない場合があります。このような場合は、もう一度、STEP3の作業をやり直してください。

Q3: 電波状態が不安定です。(つながったり、切れたりする)

A3: 次のようなことが考えられますので、確認してください。

①本製品と無線ルータや無線APの距離を近づけて使用してみてください。近づけると安定する場合は、距離が遠すぎたり、あいだに電波をさえぎる物があると考えられますので確認してください。
②近くに電子レンジやコードレス電話、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を使用する機器があると、電波干渉が発生し、正常に接続できない場合があります。周囲にそのような機器があれば、使用を一時中止したり、電源を切ってください。
③Windows XPをご使用の場合、サービスパック(SP)のバージョンが「SP3以降」である必要があります。ご使用のパソコンのWindows XPのバージョンを確認し、SP2以前の場合は、アップデートを実行してください。
④無線LANのチャンネルを変更してみてください。変更方法は、PDF版ユーザーズマニュアルをお読みください。
⑤本製品のドライバをアンインストールし、もう一度インストールしてください。アンインストールの方法はPDF版ユーザーズマニュアルをお読みください。
⑥Windowsのファイアウォール関係の設定で、ワイヤレスネットワーク(本製品:LAN-W150N/U2M)に関するファイアウォール機能を解除してください。

ご参考:ファイアウォール設定画面の表示手順
※コントロールパネルがクラシック表示の場合は、表示が多少異なります。

●Windows Vistaの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[セキュリティ]で[Windowsファイアウォールの無効化]を選択します。「無効(推奨されません)」を選択し、[OK]をクリックします。

●Windows XP SP3以降の場合
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[セキュリティセンター]で[Windowsファイアウォール]を選択します。「無効(推奨されません)」を選択し、[OK]をクリックします。

⑦セキュリティソフトをご使用の場合は、ご使用のセキュリティソフトの説明書をお読みになり、ファイアウォール機能をいったん停止してください。

手動で無線LANに接続する場合

WPS機能に対応していない無線ルータまたは無線AP(以降、無線親機と呼びます)と接続する場合は、手動で無線LAN設定をする必要があります。以下の手順で設定してください。

1 接続先の無線親機の設定値を調べておきます。

設定名	項目名	無線親機の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	□Open □Shared □WPA □WPA-PSK □WPA2 □WPA2-PSK
設定値C	暗号化	□Non(データを暗号化しない) □WEP □TKIP □AES
設定値D	暗号キー名	(WEPの場合はキーNo.＝)

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

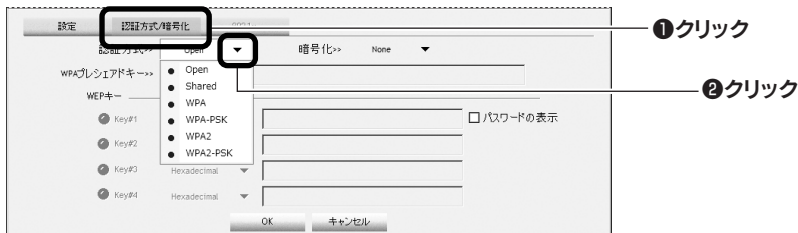
2 3ページのSTEP3 手順 1・2 を読んでクライアントユーティリティを起動します。

3 接続したい無線親機の「SSID」を選択し、「プロファイルを追加」をクリックします。

※リストに表示されている情報は例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

> **SSIDの秘匿機能をご使用の場合**
> 「ブロードキャストSSID」「ステルスSSID」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は以下の手順で接続する無線LANのSSIDなどを手動で入力してください。
> ①ツールバーの[プロファイル]をクリックします。
> ②[追加]ボタンをクリックします。
> ③「プロファイル名(例:My Home)」「SSID(あらかじめメモした設定値Aの内容)」などを入力します。
> ※SSIDは大文字と小文字が区別されます。
> ④手順 4 へ進みます。

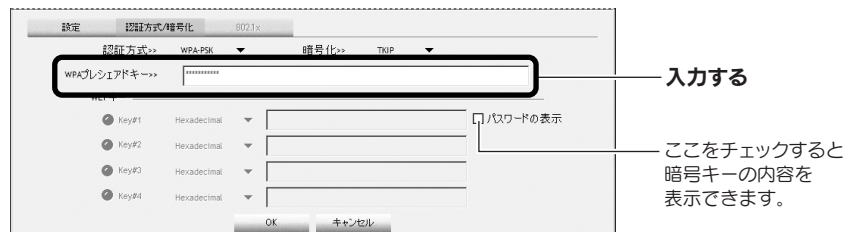
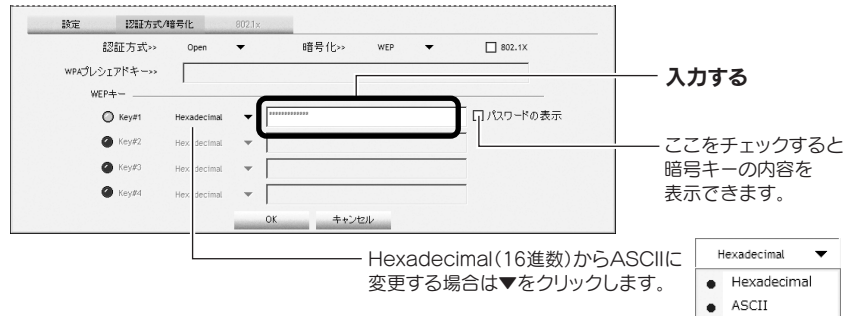
4 無線親機の設定に応じて暗号化設定をします。セキュリティ機能を設定していない場合は、手順 9 へ進みます。

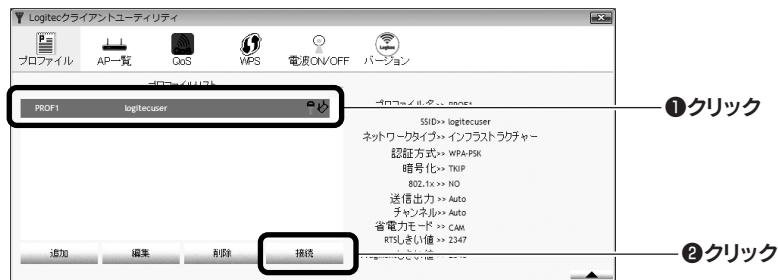
5 【認証方式/暗号化】タブをクリックします。「認証方式」の[▼]をクリックして、認証方式を選択します。

● あらかじめメモした「設定値B」を参考にして選択します。

6 「暗号化」の[▼]をクリックして、暗号化方法を選択します。

● あらかじめメモした「設定値C」を参考にして選択します。

7 暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。

●WPAタイプを選択した場合
「WPAプレシェアードキー」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。

●WEPタイプを選択した場合
- 「WEPキー」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。
- 暗号キーを入力するときは、右側の▼をクリックし、暗号キーの半角英数字(ASCII文字)もしくは16進数(Hexadecimal)を選択してから入力してください。
- 暗号キーを入力するKey番号(Key#1〜#4)は、無線親機と同じにする必要があります。

8 暗号化の設定が終われば[OK]をクリックします。

9 プロファイル画面が表示されますので、接続先のSSIDを選択し、[接続]をクリックします。

10 正しく接続できると、ステータスのインジケータに「接続状態 >> 100%」と表示されます。これで無線親機との接続作業は完了です。

● [X] をクリックしてクライアントユーティリティを閉じます。

> **インターネットに接続できる環境でご使用の場合**
> インターネットに接続できる環境の場合、Webブラウザからインターネットに接続することで、正しく設定できているかを確認することができます。